

# 長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

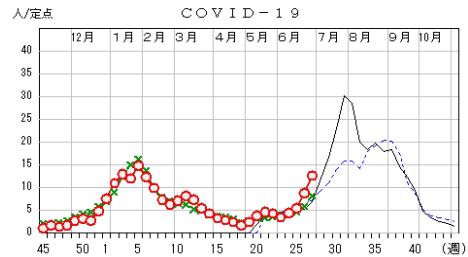
2024年第27週 2024年7月1日（月）～2024年7月7日（日）2024年7月11日作成

☆定点<sup>※</sup>報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

## （1）新型コロナウイルス感染症

第27週の報告数は883人で、前週より273人多く、定点当たりの報告数は12.61であった。年齢別では、50～59歳（97人）、30～39歳（96人）、10～14歳（94人）の順に多かった。

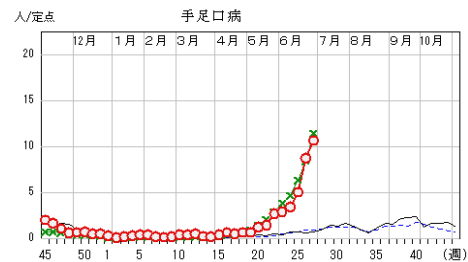
定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（18.50）、壱岐保健所（17.33）であった。



## （2）手足口病

第27週の報告数は470人で、前週より84人多く、定点当たりの報告数は10.68であった。年齢別では、1歳（190人）、2歳（93人）、3歳（54人）の順に多かった。

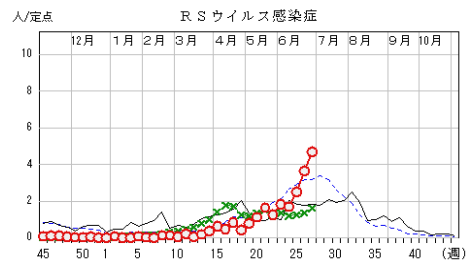
定点当たり報告数の多い保健所は、佐世保市保健所（19.17）、県央保健所（16.00）、五島および上五島保健所（11.00）であった。



## （3）RSウイルス感染症

第27週の報告数は207人で、前週より47人多く、定点当たりの報告数は4.70であった。年齢別では、1歳（78人）、1歳未満（70人）、2歳（30人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（9.00）、佐世保市保健所（6.67）、県南保健所（5.60）であった。



○ 当年(長崎県)      前年(長崎県)  
× 当年(全国)      前年(全国)

※インフルエンザ/COVID-19定点数：70、小児科定点数：44、眼科定点数：8、基幹定点数：12

## ☆上位3疾患の概要

### 【新型コロナウイルス感染症】

第27週の報告数は883人で、前週より273人多く、定点当たり報告数は12.61でした。地区別にみると、県南地区（18.50）、壱岐地区（17.33）は他の地区より多くなっています。年代別では10代、10歳未満が多く、すべての年代で前週より増加しました。県全体で4週続けて増加していますので、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【手足口病】

第27週の報告数は470人で、前週より84人多く、定点当たり報告数は10.68でした。3週続けて警報レベル開始基準値「5.0」を超えました。地区別にみても、壱岐地区、対馬地区をのぞくすべての地区で警報レベルの報告数となっています。

本疾患は、口腔粘膜および四肢末端に現れる水疱性発疹を特徴とする乳幼児に多いウイルス性疾患です。感染経路は、糞口感染、飛沫感染で水疱内容液からも感染します。手洗い、うがいを励行し、感染防止に努めましょう。原因ウイルスの種類によっては手足口病とともに無菌性髄膜炎や脳炎を併発させることもありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

【RSウイルス感染症】

第27週の報告数は270人で、前週より47人多く、定点当たりの報告数は4.70でした。地区別にみると県北地区（9.00）、佐世保地区（6.67）、県南地区（5.60）は他の地区より多くなっています。今後も予防に努めましょう。

本疾患は、発熱や鼻水が主な症状の呼吸器感染症で、通常は軽症で済みますが、乳幼児、特に6か月未満の乳幼児では、重い咳が出て呼吸困難や肺炎、脳症になることもあります。感染経路は接触感染や飛沫感染で、一度かかっても再感染し、大人も感染することがあります。

乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。

☆トピックス：手足口病が流行しています

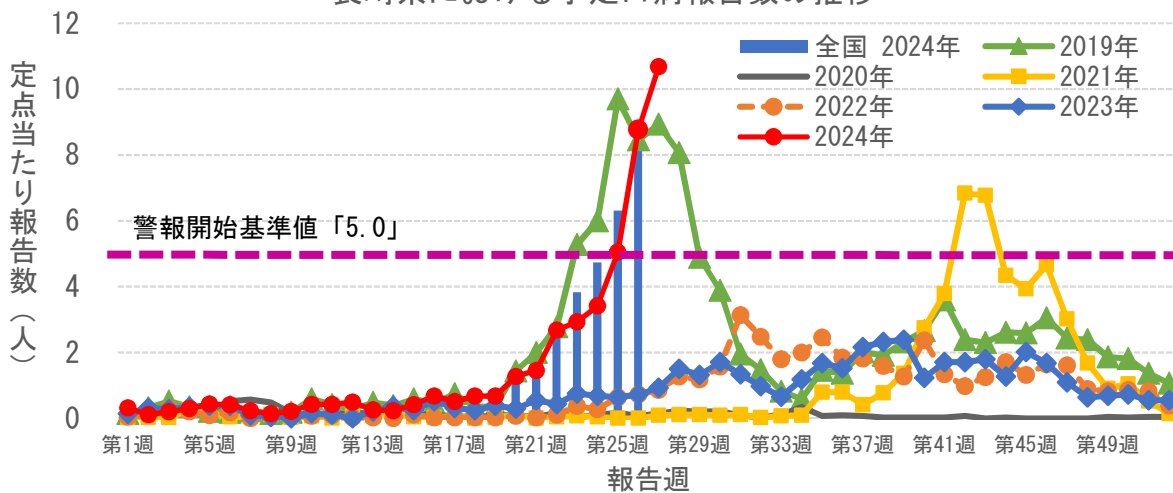
手足口病は、その名のとおり四肢および口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。乳幼児での発症が多く、例年報告数の9割程度を5歳以下が占めますが、大人でも感染する可能性があります。主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。主な原因ウイルスとしてコクサッキーウイルスA6(CV-A6)、CV-A16、エンテロウイルス71型(EV-A71)が知られています。

基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。

**長崎県の第27週の定点当たり報告数は「10.68」で8週続けて増加し、3週続けて警報レベル開始基準値「5.0」を超えました。**地区別でも、10保健所のうち、壱岐と対馬を除く8保健所で「5.0」を超えています。年齢別では、2歳以下で全体の7割を占めています。

今後も手洗い、うがいを励行し、感染防止に努め体調管理に気をつけましょう。

長崎県における手足口病報告数の推移



☆トピックス：梅毒の患者数が増加しています

梅毒は梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症で、感染者との粘膜の接触を伴う性行為感染や妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する（＝先天梅毒）経路があります。

長崎県では2024年第27週までに58件の報告があります。

2024年の報告を年代別にみると、男性では40代および50代、女性では20代が多くなっています。

梅毒は早期診断、早期治療が重要ですので、感染が疑われる症状がみられた場合、感染の不安がある場合には、早期に医療機関を受診しましょう。また、県内の保健所では、無料の相談・検査を受けます（事前の連絡・予約が必要）。詳細は、長崎県感染症情報センター「梅毒の発生状況」に掲載しています。

★トピックス：新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

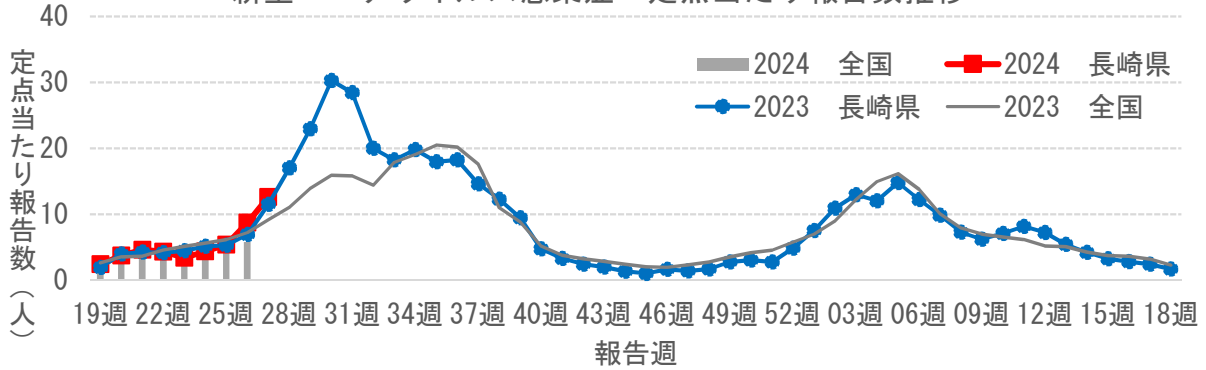
新型コロナウイルス感染症の長崎県における第27週の定点当たり報告数は「12.61」で、4週続けて増加しました。2023年においても、7月から報告数の増加がみられました。

地区別にみると、多くの地区で前週より増加し、県南地区（18.50）、壱岐地区（17.33）は他の地区より多くなっています。

年代別では、10代、10歳未満が多く、すべての年代で前週より増加しました。

今後も動向に注視し、場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告数推移



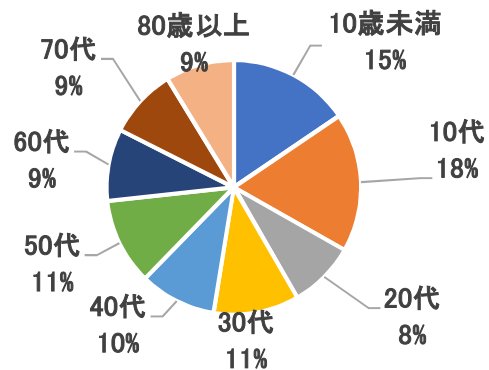
新型コロナウイルス感染症の保健所別報告数

	長崎県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
報告数	883	90	232	52	78	148	148	50	18	29	38
定点数	70	11	17	3	6	11	8	4	4	3	3
定点当たり報告数	12.61	8.18	13.65	17.33	13.00	13.45	18.50	12.50	4.50	9.67	12.67

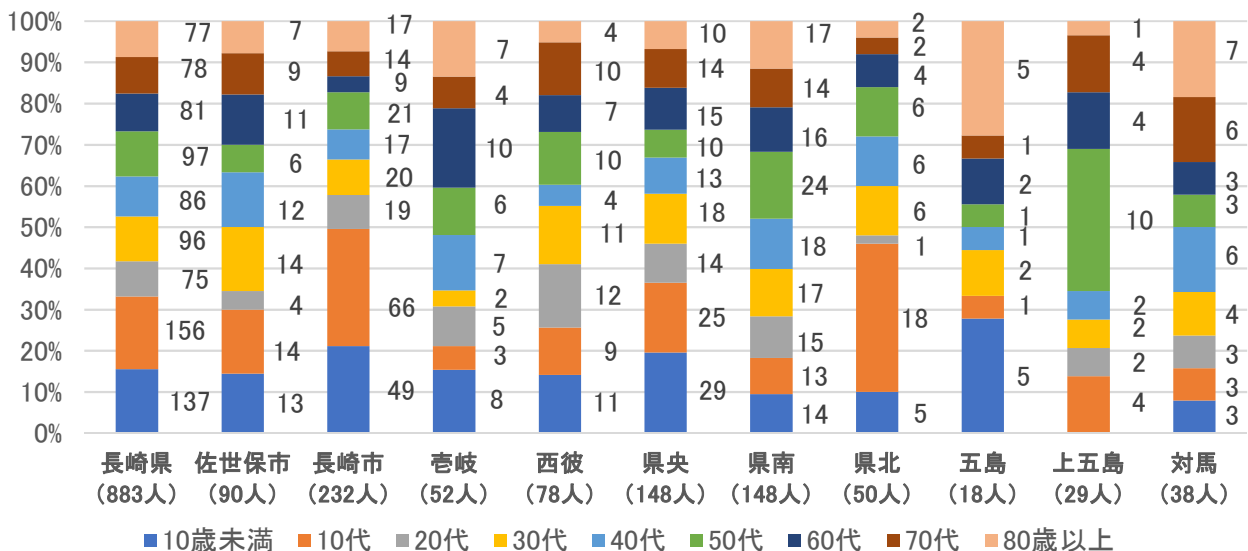
性別割合



年代別割合



保健所別年代別報告数



◆全数届出の感染症

2類感染症：結核 患者 男性（70代・2名、80代以上・2名）  
 無症状病原体保有者 女性（10代・1名、70代・1名、80代以上・1名）

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 患者 女性（10歳未満・1名）  
 無症状病原体保有者 女性（20代・1名）

5類感染症(全数把握対象)：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 患者 男性（80代以上・1名）  
 梅毒 患者 男性（50代・1名） 女性（10代・1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第22~27週、5/27~7/7)

疾患名	定点当たり患者数					
	22週	23週	24週	25週	26週	27週
	5/27~	6/3~	6/10~	6/17~	6/24~	7/1~
インフルエンザ	0.29	0.11	0.09	0.04	0.20	0.39
新型コロナウイルス感染症	4.31	3.41	4.36	5.36	8.71	12.61
RSウイルス感染症	1.25	1.82	1.70	2.50	3.64	4.70
咽頭結膜熱	1.70	1.05	0.91	0.84	0.82	0.34
A群溶血性链球菌咽頭炎	5.36	5.93	5.02	3.98	3.84	3.18
感染性胃腸炎	2.86	2.43	1.80	1.89	2.16	1.55
水痘	0.14	0.27	0.30	0.25	0.14	0.20
手足口病	2.68	2.93	3.41	5.05	8.77	10.68
伝染性紅斑（リンゴ病）		0.02	0.05		0.05	0.02
突発性発しん	0.34	0.30	0.36	0.32	0.48	0.30
ヘルパンギーナ	0.25	0.55	0.30	0.39	0.86	1.18
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.09	0.02	0.07	0.14	0.02	0.05
急性出血性結膜炎					0.38	0.13
流行性角結膜炎		0.50	0.88	0.13	0.75	0.50
細菌性髄膜炎	0.08					0.08
無菌性髄膜炎			0.08		0.08	
マイコプラズマ肺炎	0.08	0.08	0.08	0.33	0.08	0.33
クラミジア肺炎（オウム病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.08			0.08		

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第27週、7/1~7/7) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾患名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	0.39		1.41		0.17	0.18					
新型コロナウイルス感染症	12.61	8.18	13.65	17.33	13.00	13.45	18.50	12.50	4.50	9.67	12.67
RSウイルス感染症	4.70	6.67	5.20		4.25	5.14	5.60	9.00	1.33		1.50
咽頭結膜熱	0.34	0.17	0.30		0.25	0.43		1.33			1.50
A群溶血性链球菌咽頭炎	3.18	1.33	1.00	1.00	4.75	3.43	13.60	1.33		0.50	2.00
感染性胃腸炎	1.55	5.17	1.20	0.50	0.50	2.29	0.80	0.67			
水痘	0.20	0.50	0.10		0.50	0.43					
手足口病	10.68	19.17	10.50	2.50	3.75	16.00	8.60	5.67	11.00	11.00	1.50
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.02		0.10								
突発性発しん	0.30	0.17	0.20	1.00		0.71	0.20	0.67			
ヘルパンギーナ	1.18	0.83	1.80			3.00	1.40		0.33		
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.05		0.20								
急性出血性結膜炎	0.13						1.00				
流行性角結膜炎	0.50						4.00				
細菌性髄膜炎	0.08	1.00									
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎	0.33	1.00		1.00		2.00					
クラミジア肺炎（オウム病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											